



意匠委員会（委員数 24名／担当：福岡常務理事）

- ◆ 活動方針：付加価値や差別化の源泉となるデザイン保護に関する
会員企業への有益な情報発信と実利ある法制度に向けた活動を推
進する

- WG 1 画像意匠に関する調査研究
 - A（テーマ）画像意匠の検索方法に関する研究
 - B（テーマ）画像意匠の出願時における対象物品・画像の
選択に関する調査研究

- WG 2 （テーマ）意匠権のブランド寄与に関する調査研究

- WG 3 （テーマ）非意匠実務者向け「意匠権独自の効果および
知財ミックスにおける意匠権の効果」資料の作成





意匠委員会（委員数 24名／担当：福岡常務理事 第1A

◆ テーマ名

画像意匠の検索方法に関する研究

◆ 狙い

令和元年意匠法改正により保護対象が拡充された“画像意匠”に関する効率的で漏れのない検索方法（Dターム活用等）の研究

◆ 内容の概略

登録事例を通じて画像意匠検索に関する課題点を分析する。分析結果を用いて、特許庁への提言や注意事項をまとめた資料を作成する。

◆ アウトプット&スケジュール

- ・現状分析及び課題点抽出（9月まで）
- ・特許庁との意見交換（9月以降～年内）
- ・特許庁への提言、検索注意事項に関する報告資料作成（年度内）





意匠委員会（委員数 24名／担当：福岡常務理事 第1B

◆ テーマ名

画像意匠の出願時における対象物品・画像の選択に関する調査研究

◆ 狙い

画像意匠は、法改正により物品の一部としての出願と画像単体としての出願が選択できることとなったため、夫々の出願の最適な選択について研究する。

◆ 内容の概略

登録事例から夫々の出願のメリット・デメリットを分析し、画像意匠の出願時における対象物品・画像の最適な選択に関する考察を行う。

◆ アウトプット&スケジュール

- ・夫々の出願に関するメリット・デメリットの整理（9月まで）
- ・JIPA会誌論説の執筆（10月～1月）





意匠委員会（委員数 24名／担当：福岡常務理事 第2

◆ テーマ名

意匠権のブランド寄与に関する調査研究

◆ 狙い

デザイン経営宣言にてブランドとデザインの関係が示される中、意匠権がブランド形成および保護に寄与するロジックとその効果について研究する。

◆ 内容の概略

意匠権とブランドとの関係性をブランド視点から整理し、意匠権を用いたブランド形成や保護の事例についての研究を通じ、ブランドに寄与する意匠権の効果に関する考察を行う。

◆ アウトプット&スケジュール

- ・意匠権とブランドとの関係性をブランド視点から整理（5～7月）
- ・意匠権を用いたブランド形成や保護の事例研究（8～11月）
- ・東西部会発表資料または知財管理誌論説作成（12～3月）





意匠委員会（委員数 24名／担当：福岡常務理事 第3

◆ テーマ名

非意匠実務者向け「意匠権独自の効果および知財ミックスにおける意匠権の効果」資料の作成

◆ 狙い

意匠法改正とともに意匠のプレゼンスが高まっている中、意匠権の効果を開発者や経営層等に広く理解いただく

◆ 内容の概略

登録事例・損害事例・税関の差し止め事例に仮想事例を加え、意匠権独自効果や知財ミックスにおける意匠権の効果を洗い出し、開発者向け教育資料や経営層向け資料等を作成する

◆ アウトプット&スケジュール

仮想事例の作成および意匠権効果の洗い出し（9月～10月まで）

非意匠実務者向け資料作成（東西部会発表：年度内）





意匠委員会 (委員数 24名/担当: 福岡常務理事)

◆ その他活動

【国内】

1. 庁OUT手続のデジタル化に関する意見交換
2. 「デザインと法協会」創作者分科会との創作者認定に関する意見交換会
3. 特許法等改正に関する庁審判部との意見交換
4. 日本新規性喪失の例外規定に関する弁理士会意見ヒアリング
5. 特許庁制度審議室との意見交換
6. 中韓台向け要望事項 特許庁提出





意匠委員会 (委員数 24名/担当: 福岡常務理事)

◆ その他活動

【外国】

1. 第44回SCT会合 参加
2. WIPOPJ 第1回会合 参加
3. CNIPA「専利出願行為の規範化に関する若干の規定の改正草案」パブコメ検討
4. 韓国デザイン保護法施行規則の一部改正令 パブコメ検討
5. 日中韓商標意匠フォーラム 参加
6. 欧州委員会「意匠の保護にかかるサーベーター」意見提出
7. 日中研究事業（特許庁委託）における講演及び意見交換の検討
8. シンガポール知財法改正案 パブコメ検討
9. CNIPA「専利審査指南改正」パブコメ意見書提出

